

2011年3月、東京電力福島第一原子力発電所の事故の以前には、日本の電気の約30%を原子力発電でまかっていた。

国内にある発電所は全国17箇所54基（福島第一原子力発電所6基含む）。もんだじめを入れれば18箇所55基です。福島第一原子力発電所の原子炉は全基廃止が決定しています。

2013年9月15日、最後まで運転していた福井県の関西電力大飯原子力発電所4号機が運転を停止しました。

■原子力発電ゼロ

これにより、全ての原子炉は運転停止、または定期点検に入っていて、現在稼働中の原子力発電所はありません。

2011年当時、計画停電が頻繁にありました。しかし、今現在、原子力発電はゼロとなりましたが、懸念されていた電力不足による停電は起きていません。

■省エネと再生可能エネルギーの推進
この数年で、再生可能エネルギーの利便は全国各地で増えてきました。

鶴ヶ島市でも、鶴ヶ丘のメガソーラーだけでなく小規模な太陽光発電所（住宅の屋根など）もよく見かけるようになりました。今年、夏休み期間中、藤中学校舎の屋根に、ソーラーパネルが設置されます。

化石燃料と異なり、再生可能エネルギーは輸入に頼ることなく、そして、なくなることはありません。

政府は、原発に依存してきた過去に戻るのではなく、省エネと安全で持続可能な再生可能エネルギーによる未来へと進むべきです。

■なぜ、今、原発再稼働!?

4月福井地裁が高浜原発の再稼働を認めない決定を出しました。決定の骨子によれば「原子力規制委員会の新規制基準は合理性を欠き、適応しても安全性は確保されていない」とあります。しかし、いま、川内原発が再稼働さ

れようとしています。「審査に合格しても安全だとは言わない」と原子力規制委員会自ら、事故が起きるリスクをゼロにはできないとしています。福島の経験を踏まえれば、私たちは原発再稼働を容認すべきではないと考えます。（本原稿は、6月に作成しています。）



●みんなの声と参加が まちをつくる!

私たちは、暮らしの中で気づいた課題を調査し学び合い、市政に提案しています。みなさんの声を市民ネットワーク鶴ヶ島にお寄せください。また、ネット通信を配布して下さる方を募集中です。

